

組合員の不安にならないよう十分な説明を！ 名古屋地区の社宅等の再配置が示される

本部は、6月19日業務委員会を開催して「当面の社宅等の再配置について」の説明を受けました。この間、社宅については全社的に集約、新設、統合など再配置の検討が進められてきました。本部は、その都度問題点の解明、本人希望の尊重など組合員の生活設計に支障をきたすことがないように主張してきました。今回は名古屋地区の具体的な再配置の内容（詳しくは別紙会社資料参照）が明らかにされました。

今後、関係する組合員にそれぞれ説明会や書面による通知が行われますが、疑問点、問題点、希望などについては、今後も協議をしていきますので、本部まで連絡して下さい。

《主なやりとり》

組合：現在稲沢下津町社宅に何世帯住んでいるのか。

会社：現在100世帯くらいだ。

組合：現在の中村町社宅を建て替え、主に稲沢下津町社宅を集約し、戸数が140戸ということだが、中村町社宅、稲沢下津町社宅に入居している全世帯が入居できるのか。

会社：全世帯入居できると考えている。

組合：新しい社宅の間取りと料金はどうなるのか。

会社：3DKと3LDKを考えている。料金は名古屋フラットと同じくらいと考えている。

組合：駐車場と駐輪場は確保するのか。

会社：駐車場は1世帯1つを用意する考えである。駐輪場は需要に必要なものは確保する。

組合：烏森独身寮の新設で、主に現在の烏森寮と則武寮の独身者を集約し、戸数が約200戸となっているが、これですべて入寮できるのか。

会社：現在烏森寮と則武寮合わせて200戸を割っているので十分と考えている。

組合：寮費はどうなるのか。

会社：新しくなるので、それに見合った寮費となる。

組合：関係者への説明会は具体的にいつ頃になるのか。

会社：できるだけ早く実施したいが、7月になることも考えられる。

組合：説明会では組合員の不安にならないように十分な説明をすること。

以 上